

一般質問通告書

令和 8年 1月13日

議会議長様

議席番号 6 番

議員氏名 栗原偉憲

質問事項	質問要旨	指定答弁者
1. 今後の町の組織体制は	<p>現在、当町の組織体制は、各課がそれぞれの業務を個別に担う、いわゆる「縦割り構造」となっています。この体制は、これまでの安定した時代においては、一定の役割を果たしてきました。しかし近年は、複数の部署が関わる複雑かつ横断的な課題が増えています。こうした課題に対し、現状の組織構造のままで、本当に結論を導き出せているのでしょうか。実際には、結論が出ないまま先送りされている案件が少なくないと認識しています。</p> <p>一般質問とは、「検討します」という答弁を聞くためだけの場なのでしょうか。この時間は一体、何のために存在しているのか。議会に身を置く者として、強い危機感を抱かざるを得ません。しかし、これまでの質問を通じて明らかなこともあります。まちづくりの停滞による影響を最も大きく受けるのは、他でもない町民の皆さんだという事実です。以上を踏まえ、町長にお伺いいたします。</p> <p>(1) 痛田町政の組織図において、行政運営や意思決定の迅速化の観点から、どのような評価をしているのか。また、令和8年1月広報すぎと町長あいさつにおいて、変化する環境に効率よく対応していく「経営」と述べているが、具体的にはどのようなことか。</p> <p>(2) 今後、組織横断的な課題及び公共施設の再編、大規模投資判断に対応するため、組織上における調整機能や責任体制について、どのように整理し対応する考えなのか。</p>	町長 副町長 担当課長

1月13日 午前・午後 2時40分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
2. 公共施設管理の総合判断は	<p>現在、当町の公共施設維持管理については、例えば、学校は教育総務課、各施設それぞれの所管課と分散しています。また、設備の一つである防犯カメラは危機管理課の一元管理ではなく、設置された建物ごとに所管課が管理しています。</p> <p>しかし、公共施設の更新・修繕・統廃合といった判断は、それぞれの所管課だけでは決断が難しく、結果として「個別最適」に留まってしまうのが現状です。町全体の財産として、「全体最適」の視点でアセットマネジメントを推進することが、これからは急務です。</p> <p>そこで伺います。この現状を踏まえ、町長自身が全体最適の判断を行う覚悟があるのか。</p>	町長 副町長 担当課長
3. 財産管理の一元的管理は	<p>公共施設等総合管理計画の実効性を高めるためには、公共施設を「使う部門」と「管理する部門」に分け、建物・土地・設備と言った公共資産については、財産管理を一元的に管理する体制が有効と考えます。</p> <p>そこで伺います。公共施設等総合管理計画の実効性を高めるための町長の具体策は。</p>	町長 副町長 担当課長